

ひと一人の個性が輝く
認定NPO法人
十人十色

自由と自立の旅へ

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。

年未年始は利用者さんと親兄弟との意見の食い違いや、
家族が当事者さんの能力を実際より下にみている現実につ
つかり、心がもんもんとしていました。そんな時にちょう
どいい映画に出会いました。

いろいろな賞に輝いている「37セカンズ」。

しょうがい者の自立と親子の葛藤を描いた作品です。子
どもが弱ければ弱いほど、自分が守ってやらなければならない存在だと思ってしまう。愛すれば愛するほど、陥って
しまう教育のパラドックスが描かれた映画でした。

しょうがい者は自由が奪われていることが多く、親・兄
弟が、「してあげないといけない」と思い込んでいますが、
本当は違います。

と
い
ろ
通
信

2023年
新春号

1月31日発行
Vol.52

十人十色の「ホームよっこらしょ」で暮らし始めたしょうがい者の方々は、「決める」「約束を守る」などをていねいに練習することによって、できるようになっていきました。

しょうがいがあっても環境でかなり人は変わります。食生活が改善され基本的生活習慣が整い、ていねいに自分と向き合ってくれる人のいる環境の中で人は変化し、成長します。いろんなことができるようになり、判断力もついてきます。「自分で決めて実行をする」ことができるようになっていくのです。

しかし、家族がこの「自立・成長を始めた」変化についてこれないことがあります。知らず知らずの内に、足をひっぱってしまうのです。自分の手を離れたその子（当事者）のことが分からなくなっているからです。親や兄弟は、変化前の状態のままだと思い、今の状態が見えない場合があるのです。

「世話するのが大変で、自分がいなければこの子は困る」から必死でやってきて、それが知らないうちに相手を「束縛」してしまう。熱い思いや深い愛が時として子どもの「自由と自立」の邪魔をするのです。

映画では、生まれた時に37秒間呼吸が止まっていたことが原因でしょうがい者となった彼女が、自立をめざし、自由に外に出て、社会のなかで失敗しながら、友人たちに助けられたり、だまされたりしていく様子が描かれています。そして親子の壮絶な葛藤が...待っています。

この親子の葛藤は、しょうがいがあってもなくても子育てに共通する普遍的なテーマが潜んでいます。ぜひ見てください。

この映画はPG12（12歳未満は保護者の指導・助言が必要）です。

NPO 法人十人十色 理事長 岸本美鈴

よっこらしょ 456

グループホーム
知的、精神の手帳がある方



「ホームよっこらしょ」では、自立を目指してホームで暮らしている人がほとんどです。

自立して社会で暮らしていけるようになるには、「腹が立っても喧嘩せずに話しあいができる」「自治会などで決めたルールが守れる」など様々なことが大事でしょう。例えば、「ゴミの分別やゴミ出し日を守る」などは重要な一人暮らしの条件となってきます。

ホームでは月一回メンバーミーティングを開いているんなことを決めています。「 がしたい」（過去には犬を飼うか否かを話し合い保護犬を飼うことを決めました）風呂の順番、テレビを見る時間、冬休み・夏休みの帰省、コロナ禍での外出など。記録係も文字の書けるメンバーがします。



暮らしていくなかでの苦情の訴えもあります。「 さんの足音がうるさい」「トイレの使い方がきたない」「 さんの後は洗面所がべちょべちょだ」など。時には、スタッフへの要望が出ることもあります。不満があっても喧嘩せず、公の場で議論する練習です。

また、このミーティングにはもう一つの目的があります。自分で考えて、思っている事を発言する練習です。利用者さんたちは今まで、人から言われた通りにするばかりで、自分から意見を発する機会や自分の思いを伝える事が難しい中で生きてきている様に思います。

自己決定する・出来る自由と責任を知り、自立に向けての第一歩になって欲しいと思っています。



文/南場 峰子



なんやこの 作業所

就労継続支援B型事業

働く、内職、農業など

生活介護事業

アート、ラジオ体操など訓練・リハビリ

生活介護

令和4年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展
あいサポート・アートとっとり展
最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞を受賞!

受賞コメント

とてもうれしいです。

針金で手が痛くなりました。葉っぱを一枚一枚ていねいにつくりました。



受賞コメント

うれしかったです。こんなの書きたい! というものを無心でかきました。描くことが好きです。描き続けることで自分の描きたいものに近づいていくところが好きです。

受賞コメント

うれしかったです。特徴をとらえながら描いたり、最後にサインペンでなぞったりするところが大変でした。

少しずつコツコツと描き上げました。

受賞コメント

ありがとうございます。

何を描こうかな? とたくさん考えながらつみきに描きました。サイコロに描いたアートをぜひみてください。

文/岸 舞

B 型

今年も柿の皮むき作業の季節がやってきました。

寒い日もある中、コロナ対策の換気もしつつがんばりました。

ヘタ取り、ピーラーでの皮むき、溝取りと工程がありますが、毎年やっている利用者さんはどの工程も任せられるほど器用にできるベテランです。



文/小谷 尚久



柿剥きが終わると、入れ替わりに白ネギの収穫、出荷が始まります。今年は夏場の肥料が少なかったのか、去年より全体的に少し細目になっています。

雪が降ると葉や茎が折れてしまうので今年はあまり雪が降りませんように...と天にお祈り。寒波が来た時には鍋のお供にして暖まると最高です。



文/岸本 一平

ちゃんちゃん

「ちゃんちゃん」は、近隣の高齢者の方に利用して頂いています。宿泊の方、通いの方、訪問の方...それぞれの利用者さんに合ったサービスを提供しています。

小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護事業所

10月30日、とりぎん文化会館で行われ琴の演奏や踊り、バンド音楽やファッションショーなどを鑑賞してきました。



12月22日、サンタの帽子を被って、ケーキを食べて、みんなでクリスマスの歌を歌って祝いました。



お昼にみんなで鍋を囲んで忘年会を開きました。去年はちゃんちゃんでもコロナ感染があるなど大変な年でしたが、今年は利用者の皆様にとって良い年でありますように。



このページでは十人十色と交流のあった方々との思い出を紹介させて頂いております。

新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、安全対策を講じて見学来所をお受けしています。

10月29日(土) 30日(日)

あいサポート・アートとっとり祭

とりぎん文化会館梨花ホールにて「あいサポート・アートとっとり祭」が開催されました。

「ごてえよっぺてえおどらあいや」の舞台発表に十人十色のメンバーも参加し、「社^{やしろ}音頭」と初披露の演目「獅子舞」を披露しました。



やしろ音頭

練習を重ね、大舞台で堂々と発表できました。出演したメンバーのご家族から、「感動しました。こんな大きなステージで発表ができるなんて、よい体験が出来たと思います。」と、うれしい感想も頂きました。



発表後のインタビュー



獅子舞の猩々を熱演！

令和4年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展
あいサポート・アートとっとり展 授賞式

1月21日、あいサポート・アートとっとり展の授賞式が鳥取県立博物館でありました。受賞者と職員で出席し、みんなで喜びあいました！



受賞したみんなの堂々した様子に、これまでみんなでたくさん舞台上がってきたことや、式典にはきちんとした服装で出席することなど、今までの積み上げがあったからこそだなと感動しました。

ただ作業をしたり、日中活動をしたり、家から出かける場所があればいいということではなく、マナーを身につけたり、社会に出ていく練習をしたり、「学び」の場としても作業所やホームはあるのだと思いました。

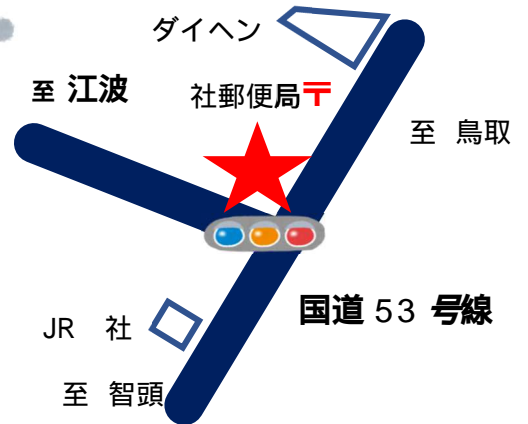
この授賞式という舞台上、その「学び」の成果が見られて嬉しかったです。そして、改めて作業所・ホームが「学び」の場であると気づかせてもらいました。



写真撮影時のみマスクをとっています。

☎0858 - 87 - 3502

ご亭めし



営業日：月・水・木・金曜日

時間：10時～14時、金曜日のみ16時まで

～ ごつつええがなアートギャラリー ～

ご亭めし内の「ごつつええがなアートギャラリー」は、県内に4ヵ所しかない「鳥取県はーとふるアートギャラリー」認定店です。お食事と共にアート作品をお楽しみください。

新作がぞくぞくと展示されています。

12月はクリスマスの大きなリースを飾りました。

季節に合わせた展示をしていますのでぜひご覧ください。



コロナ感染状況からまだ外食を控えられている方もおられると思います。
お弁当やオードブルのご注文もどうぞ。



文/岸 舞



どなたでも参加出来ます。好きな本、お気に入りの本を一冊持ってきて下さい。夜に開催は本夜、昼に開催は本昼。読書会。

今回は新しい参加者が3名もありました。用瀬町の図書館にて開催しました。まず、図書館へ入ってみんな好きな本を探します。そして、選んだ一冊を持って、中央のテーブルに集まりました。



今回紹介された本
 「かくて彼女はヘレンとなった」
 「かず」
 「最強力戦振り飛車マニュアル」
 「実践詰将棋」
 「ペンギンたんていだん」
 「きみまる夫婦川柳」
 「鎌倉殿の13人」



昨年末までの大河ドラマを楽しみに見ていた様子や、毎日作業所で将棋合戦が繰り広げられている様子、また、昨年から習い始めている「川柳」を楽しみにしている様子がよくわかります。

2022年10月～12月までの行事

10月

- 4日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 6日 ホーム456スタッフ会議
- 10日 川柳の会
- 20日 789作業所スタッフ会議
- 21日 成年後見人さん来所
- 28日 ちゃんちゃん運営推進会議
- 29日～11月27日
フクシ×アートWEEKs
- 30日 あいサポート・アートとっとり祭
鳥取市南商工会フェア出店

11月

- 3日 ホーム456スタッフ会議
- 11日 成年後見人さん来所
- 17日 789作業所スタッフ会議
- 19日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 27日 鹿の子いきいきサロン

12月

- 8日 ホーム456スタッフ会議
- 3日～11日
あいサポートアートとっとり展本展
(米子)
- 15日 789作業所スタッフ会議
- 17日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 23日 789作業所クリスマス会
- 25日 鹿の子いきいきサロン
- 29日 成年後見人さん来所



ちゃんちゃんの1月の壁アート

ご寄付ありがとうございました

石谷文栄様、高田直美様、中尾和則様、田中富治様、(株)大北工業様、上野悦子様、村本祐子様、吉田健一郎様、山家秀夫様、金谷達美様、小宮山聖美様、O様、山根宏様、澤雅子様、下田樹人様、小山邦将様、田中美津江様、村中邦子様、稲垣昭史様、田中秀幸様、鈴木直子様、山本祐三様、谷口すみ江様、谷口暁様、山下靖夫様、鳥取信用金庫様、流郷文香様、安東文枝様、竹本昇様、尾崎真理子様 (令和4年10月1日～12月末日迄)

<継続寄付ありがとうございます!>

青柳順子様、岸本美鈴様、森井麻貴様

継続寄付はホームページ(右QRコード)

からできます。どうぞよろしく願いいたします。



編集後記・・・今年うさぎ年。新しいことに挑戦したり、新しいことを始めたりするのに良い年だ
そうです。うさぎのように、ピョン!と飛躍の年になりますように。

岸

認定NPO法人 十人十色

特定非営利活動法人 十人十色

活動理念

誰もが、特に今の社会では不合理な状況におかれやすい人達が、人として大切にされ、可能性を伸ばしていくことが出来るよう、共に歩み地域との接点をつくることを通じてよりよい社会づくりに貢献します。

地域活性化事業

おいっちにいさん 123

不登校・ひきこもりの支援からはじまりました。様々な当事者さんに寄り添い、各専門センターと連携して対処、解決していくところです。

グループホーム

よっこらしょ 456

知的・精神障害者手帳を持った方々の自立・自律を目指したグループホーム。'手づくりごはんをちゃんと食べられる。夜に寝て、朝起きる。'を大事にしています。毎月、一緒に暮らすみんなで「メンバーミーティング」を開き自分たちで様々なルールを決めています。

就労支援B型・生活介護事業

なんやこの作業所 789

就労継続支援B型

地域の宝再生！農業・後継者のいなくなった地域の田畑を荒地にしないよう、米づくり、大豆づくりをして、本物の手づくりみそに加工。また、白ねぎの生産・販売をしています。受託作業として柿むき・らっきょうなどの作業を行い、福祉と農業をつなぐ日々。地域のお祭り・イベントに出店。店舗も常設、常時商品も販売しています。出店での接客、お運び・茶碗を洗うなどの作業。その他には、電子部品の組み立てなどの内職などを行っています。

生活介護

訓練・リハビリ。朝起きて行く場所があり、そこに仲間がいて一緒にうたったり、体操したりする。生活リズム構築。アート活動もしています。作品は目を見張るものがある。

イベント・啓発など

地域福祉を活性化するための楽しいイベントも開催。気軽にご参加ください。



小規模多機能居宅介護

ちゃんちゃん



地域密着型サービスで、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるように、「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービスを24時間体制で提供するのが大きな特徴です。小規模なので利用定員に限りはありますが入浴、食事、体操や機能訓練、季節ごとの催しも充実。一人暮らしの方や不安を抱えるご家族の方など一度ご相談ください。

鳥取ふれあい共生ホーム

〇〇KOMORIや



赤ちゃんから高齢者まで、誰でも集い、支えあえる事業所併設型サロン。毎月「本夜（ほんや）」開催。おすすめの本を一冊持って集まる。

飲食・カラオケ・物販事業

ご亭めし



食事・喫茶のお店です。宴会のご予約・お弁当の出前承ります。皆様のご来店、お待ちしております。

NPO法人十人十色

案内図

